ＮＰＯ法人ＲａＩＮＢＯＷ　定款

第１章 総 則

（名 称）

第１条　この法人は、ＮＰＯ法人ＲａＩＮＢＯＷという。

（事務所）

第２条　この法人は、主たる事務所を東京都港区に置く。

（目 的）

第３条　この法人は、海外勤務または海外から来日する医師、研究者など医療関係者を対象として、その生活面をサポートすることで、国境を越えた医学の交流をはかり、もって日本の医療の発展と、国民全体の健康で豊かな社会の実現に寄与することを目的とする。

（特定非営利活動の種類）

第４条　この法人は、前条の目的を達成するため、次の種類の特定非営利活動を行う。

(1) 保健、医療又は福祉の増進を図る活動

(2) 国際協力の活動

(3) 科学技術の振興を図る活動

（事業の種類）

第５条　この法人は、第３条の目的を達成するため、特定非営利活動に係る事業として、次の事業を行う。

(1) 医師、研究者達のサポート事業

(2) 医療機関に関する情報収集、提供事業

(3) 医療に関するイベント、講演会の企画、運営事業

(4) その他目的を達成するために必要な事業

２　この法人は、次のその他の事業を行う。

(1) 不動産の賃貸、売買、管理の事業

３　前項に掲げる事業は、第１項に掲げる事業に支障がない限り行うものとし、その利益は、第１項に掲げる事業に充てるものとする。

第２章 会 員

（種 別）

第６条　この法人の会員は、次の２種とし、正会員をもって特定非営利活動促進法（以

下「法」という。）上の社員とする。

(1) 正会員　この法人の目的に賛同して入会した個人及び団体

(2) 賛助会員 この法人の目的に賛同し賛助するために入会した個人及び団体

（入 会）

第７条　会員の入会について、特に条件は定めない。

２　会員として入会しようとするものは、理事長が別に定める入会申込書により、理事長に申し込むものとする。

３　理事長は、前項の申し込みがあったとき、正当な理由がない限り、入会を認めなければならない。

４　理事長は、第２項のものの入会を認めないときは、速やかに、理由を付した書面をもって本人にその旨を通知しなければならない。

（入会金及び会費）

第８条　会員は、理事会において別に定める入会金及び会費を納入しなければならない。

（会員の資格の喪失）

第９条　会員が次の各号の一に該当する場合には、その資格を喪失する。

(1) 退会届の提出をしたとき。

(2) 本人が死亡し、若しくは失そう宣告を受け、又は会員である団体が消滅したとき。

(3) 継続して１年以上会費を滞納したとき。

(4) 除名されたとき。

（退 会）

第10条　会員は、理事長が別に定める退会届を理事長に提出して、任意に退会することができる。

（除 名）

第11条　会員が次の各号の一に該当する場合には、総会の議決により、これを除名することができる。

(1) この定款に違反したとき。

(2) この法人の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。

２　前項の規定により会員を除名しようとする場合は、議決の前に当該会員に弁明の機会を与えなければならない。

（拠出金品の不返還）

第12条　既に納入した入会金、会費その他の拠出金品は、返還しない。

第３章 役 員

（種別及び定数）

第13条　この法人に、次の役員を置く。

(1) 理事　３人以上８人以内

(2) 監事　１人以上２人以内

２　理事のうち１人を理事長、１人以上２人以内を副理事長とする。

（選任等）

第14条　理事は、理事会において選任し、監事は総会において選任する。

２　理事長及び副理事長は、理事の互選とする。

３　役員のうちには、それぞれの役員について、その配偶者若しくは三親等以内の親族が１人を超えて含まれ、又は当該役員並びにその配偶者及び三親等以内の親族が役員の総数の３分の１を超えて含まれることになってはならない。

４　法第20条各号のいずれかに該当する者は、この法人の役員になることができない。

５　監事は、理事又はこの法人の職員を兼ねてはならない。

（職 務）

第15条　理事長は、この法人を代表し、その業務を総理する。

２　副理事長は、理事長を補佐し、理事長に事故があるとき又は理事長が欠けたときは、理事長があらかじめ指名した順序によって、その職務を代行する。

３　理事は、理事会を構成し、この定款の定め及び総会又は理事会の議決に基づき、この法人の業務を執行する。

４　監事は、次に掲げる職務を行う。

(1) 理事の業務執行の状況を監査すること。

(2) この法人の財産の状況を監査すること。

(3) 前２号の規定による監査の結果、この法人の業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実があることを発見した場合には、これを総会又は所轄庁に報告すること。

(4) 前号の報告をするために必要がある場合には、総会を招集すること。

(5) 理事の業務執行の状況又はこの法人の財産の状況について、理事に意見を述べること。

（任期等）

第16条　役員の任期は、２年とする。ただし、再任を妨げない。

２　補欠のため、又は増員により就任した役員の任期は、それぞれの前任者又は現任者の任期の残存期間とする。

３　役員は、辞任又は任期満了後においても、後任者が就任するまでは、その

職務を行わなければならない。

（欠員補充）

第17条　理事又は監事のうち、その定数の３分の１を超える者が欠けたときは、遅滞なくこれを補充しなければならない。

（解　任）

第18条　役員が次の各号の一に該当する場合には、理事は理事会の議決により、監事は総会の議決により、これを解任することができる。

(1) 心身の故障のため、職務の遂行に堪えないと認められるとき。

(2) 職務上の義務違反その他役員としてふさわしくない行為があったとき。

２　前項の規定により役員を解任しようとする場合は、議決の前に当該役員に弁明の機会を与えなければならない。

（報酬等）

第19条　役員は、その総数の３分の１以下の範囲内で報酬を受けることができる。

２　役員には、その職務を執行するために要した費用を弁償することができる。

３　前２項に関し必要な事項は、総会の議決を経て、理事長が別に定める。

第４章　会　議

（種　別）

第20条　この法人の会議は、総会及び理事会の２種とする。

２　総会は、通常総会及び臨時総会とする。

（総会の構成）

第21条　総会は、正会員をもって構成する。

（総会の権能）

第22条　総会は、以下の事項について議決する。

(1) 定款の変更

(2) 解散及び合併

(3) 会員の除名

(4) 事業報告及び収支決算

(5) 監事の選任及び解任

(6) 役員の報酬

(7) 解散における残余財産の帰属

(8) その他運営に関する重要事項

（総会の開催）

第23条　通常総会は、毎年１回開催する。

2　臨時総会は、次に掲げる場合に開催する。

(1) 理事会が必要と認め、招集の請求をしたとき。

(2) 正会員総数の５分の１以上から会議の目的を記載した書面により招集の請求があったとき。

(3) 監事が第15条第４項第４号の規定に基づいて招集するとき。

（総会の招集）

第24条　総会は、前条第２項第３号の場合を除いて、理事長が招集する。

2　理事長は、前条第２項第１号及び第２号の規定による請求があったときは、その日から３０日以内に臨時総会を招集しなければならない。

3　総会を招集する場合には、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面又は電磁的方法により、開催の日の少なくとも５日前までに通知しなければならない。

（総会の議長）

第25条　総会の議長は、その総会に出席した正会員の中から選出する。

（総会の定足数）

第26条　総会は、正会員総数の２分の１以上の出席がなければ開会することはできない。

（総会の議決）

第27条　総会における議決事項は、第24条第３項の規定によってあらかじめ通知した事項とする。

2　総会の議事は、この定款に規定するもののほか、出席した正会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（総会での表決権等）

第28条　各正会員の表決権は平等なものとする。

2　やむを得ない理由により総会に出席できない正会員は、あらかじめ通知された事項について、書面若しくは電磁的方法をもって表決し、又は他の正会員を代理人として表決を委任することができる。

3　前項の規定により表決した正会員は、前２条及び次条第１項の規定の適用については出席したものとみなす。

4　総会の議決について、特別の利害関係を有する正会員は、その議事の議決に加わることができない。

（総会の議事録）

第29条　総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

(1) 日時及び場所
(2) 正会員総数及び出席者数（書面若しくは電磁的方法による表決者又は表決委任者がある場合にあっては、その数を付記すること。）
(3) 審議事項
(4) 議事の経過の概要及び議決の結果
(5) 議事録署名人の選任に関する事項

2　議事録には、議長及び総会において選任された議事録署名人２人が、記名押印又は署名しなければならない。

（理事会の構成）

第30条　理事会は、理事をもって構成する。

（理事会の権能）

第31条　理事会は、この定款に別に定める事項のほか、次の事項を議決する。
(1) 総会に付議すべき事項
(2) 総会の議決した事項の執行に関する事項
(3) その他総会の議決を要しない業務の執行に関する事項

（理事会の開催）

第32条　理事会は、次に掲げる場合に開催する。
(1) 理事長が必要と認めたとき。
(2) 理事総数の２分の１以上から理事会の目的である事項を記載した書面により招集の請求があったとき。

（理事会の招集）

第33条　理事会は、理事長が招集する。

2　理事長は、前条第２号の規定による請求があったときは、その日から１４日以内に理事会を招集しなければならない。

3　理事会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面又は電磁的方法により、開催の日の少なくとも５日前までに通知しなければならない。

（理事会の議長）

第 34 条　理事会の議長は、理事長がこれにあたる。

（理事会の議決）

第35条　理事会における議決事項は、第33条第３項の規定によってあらかじめ通知した事項とする。

2　理事会の議事は、理事総数の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（理事会の表決権等）

第36条　各理事の表決権は、平等なものとする。

2　やむを得ない理由のため理事会に出席できない理事は、あらかじめ通知された事項について書面をもって表決することができる。

3　前項の規定により表決した理事は、前条及び次条第１項の適用については、理事会に出席したものとみなす。

4　理事会の議決について、特別の利害関係を有する理事は、その議事の議決に加わることができない。

（理事会の議事録）

第37条　理事会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

(1) 日時及び場所

(2) 理事総数、出席者数及び出席者氏名（書面表決者にあっては、その旨を付記すること。）

(3) 審議事項

(4) 議事の経過の概要及び議決の結果

(5) 議事録署名人の選任に関する事項

2　議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人２人が記名押印又は署名しなければならない。

第５章 資 産

（構 成）

第38条　この法人の資産は、次の各号に掲げるものをもって構成する。

(1) 設立当初の財産目録に記載された資産

(2) 入会金及び会費

(3) 寄付金品

(4) 財産から生じる収入

(5) 事業に伴う収入

(6) その他の収入

（区 分）

第39条　この法人の資産は、特定非営利活動に係る事業に関する資産、その他の事業に関する資産の２種とする。

（管 理）

第40条　この法人の資産は、理事長が管理し、その方法は、理事会の議決を経て、理事長が別に定める。

第６章 会 計

（会計の原則）

第41条　この法人の会計は、法第27条各号に掲げる原則に従って行わなければならない。

（会計区分）

第42条　この法人の会計は、特定非営利活動に係る事業会計、その他の事業会計の２種とする。

（事業年度）

第43条　この法人の事業年度は、毎年７月１日に始まり、翌年６月３０日に終わる。

（事業計画及び予算）

第44条　この法人の事業計画及びこれに伴う収支予算は、毎事業年度ごとに理事長が作成し、理事会の議決を経なければならない。

（暫定予算）

第45条　前条の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算が成立しないときは、理事長は、理事会の議決を経て、予算成立の日まで前事業年度の予算に準じ収入支出することができる。

２　前項の収入支出は、新たに成立した予算の収入支出とみなす。

（予備費）

第46条　予算超過又は予算外の支出に充てるため、予算中に予備費を設けることができる。

２　予備費を使用するときは、理事会の議決を経なければならない。

（予算の追加及び更正）

第47条　予算成立後にやむを得ない事由が生じたときは、理事会の議決を経て、既定予算の追加又は更正をすることができる。

（事業報告及び決算）

第48条　この法人の事業報告書、財産目録、貸借対照表及び収支計算書等決算に関する書類は、毎事業年度終了後、速やかに、理事長が作成し、監事の監査を受け、総会の議決を経なければならない。

２　決算上剰余金を生じたときは、次事業年度に繰り越すものとする。

（臨機の措置）

第49条　予算をもって定めるもののほか、借入金の借入れその他新たな義務の負担をし、又は権利の放棄をしようとするときは、理事会の議決を経なければならない。

第７章 定款の変更、解散及び合併

（定款の変更）

第50条　この法人が定款を変更しようとするときは、総会に出席した正会員の４分の３以上の多数による議決を経、かつ、法第25条第３項に規定する軽微な事項を除いて所轄庁の認証を得なければならない。

（解 散）

第51条　この法人は、次に掲げる事由により解散する。

(1) 総会の決議
(2) 目的とする特定非営利活動に係る事業の成功の不能
(3) 正会員の欠亡
(4) 合併
(5) 破産手続開始の決定
(6) 所轄庁による設立の認証の取消し

２　前項第１号の事由によりこの法人が解散するときは、正会員総数の４分の３以上の議決を経なければならない。

３　第１項第２号の事由により解散するときは、所轄庁の認定を得なければならない。

（残余財産の帰属）

第52条　この法人が解散（合併又は破産手続開始の決定による解散を除く。）したときに残存する財産は、法第１１条第３項に掲げる者のうち、総会において議決した者に譲渡するものとする。

（合 併）

第53条　この法人が合併しようとするときは、総会において正会員総数の４分の３以上の議決を経、かつ、所轄庁の認証を得なければならない。

第８章 公告の方法

（公告の方法）

第54条　この法人の公告は、この法人の掲示場に掲示するとともに、官報に掲載して行う。ただし、法第２８条の２第１項に規定する貸借対照表の公告については、この法人のホームページにおいて行う。

第９章 雑 則

（細則）

第 55 条　この定款の施行について必要な細則は、理事会の議決を経て、理事長がこれを定める。

附則

1　この定款は、この法人の成立の日から施行する。

2　この法人の設立当初の役員は、次のとおりとする。

理事長	小山　太郎
副理事長	ハックル　フローリアン
理　事	アフラキ　ペジャマン
理　事	ツハイリ　バラ
理　事	ブランス　リチャード
監　事	秋月　令子

3　この法人の設立当初の役員の任期は、第16条第１項の規定にかかわらず、この法人の成立の日から平成２３年９月３０日までとする。

4　この法人の設立当初の事業年度は、第43条の規定にかかわらず、この法人の成立の日から平成２３年６月３０日までとする。

5　この法人の設立当初の事業計画及び収支予算は、第44条の規定にかかわらず、設立総会の定めるところによる。

6　この法人の設立当初の入会金及び会費は、第８条の規定にかかわらず、次に掲げる額とする。

(1) 入会金	正会員	（個人）	１０，０００円
		（団体）	１００，０００円
	賛助会員	（個人）	１０，０００円
		（団体）	１００，０００円
(2) 年会費	正会員	（個人）	１２，０００円
		（団体）	２４，０００円
	賛助会員	（個人）	１２，０００円
		（団体）	２４，０００円

書式第８号（法第１０条・第２５条関係）

設立・定款変更用

令和07年度　　事　業　計　画　書

NPO法人RaINBOW

1　事業実施の方針

海外勤務希望または海外勤務中の日本人医師・研究者およびそのご家族を対象に、相談受付や情報提供等の事業をこれまで通り着実に実施します。

あわせて、法人所有不動産を、海外からの医師・研究者等に滞在時に利用してもらいます。また、未使用期間に限り一般への貸出しを行い、収益の確保と有効活用を図ります（初年度は年度途中からの実施のため、運用を確認しながら段階的に開始します)。

2　事業の実施に関する事項

（1）特定非営利活動に係る事業　　（事業費の総費用【　20944　】千円　）

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
医師、研究者達のサポート事業	海外勤務希望又は海外勤務中の日本人医師、及びその家族への相談受付	随時	メールにて	3人	海外勤務希望又は海外勤務中の日本人医師とその家族	20人	3141
医師、研究者達のサポート事業	海外勤務中の医師、その家族、現地の医師や研究者からの情報をまとめた電子版季刊誌の発行	随時	オランダ マーストリヒト	2人	海外勤務希望又は海外勤務中の日本人医師とその家族	50人	3142
医療機関に関する情報収集、提供事業	日本人医師を対象とした海外医療機関、研究室の見学会開催	令和7年5月26日～7月1日	韓国 ソウル	3人	日本人医師とその家族	30人	14661
医療に関するイベント、講演会の企画、運営事業	活動なし	－	－	－	－	－	0

（2）その他の事業　　（事業費の総費用【　666】千円）

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費(千円)
不動産の賃貸、売買、管理の事業	法人の所有する不動産を医師や研究者の滞在時の貸し出しに使用しないとき、その不動産を一般の方に貸出しをする	4月3日以降随時	千葉県	3人	666

書式第８号（法第１０条・第２５条関係）

設立・定款変更用

令和08年度　　事　業　計　画　書

NPO法人RaINBOW

1　事業実施の方針

海外勤務希望または海外勤務中の日本人医師・研究者およびそのご家族への相談受付・情報提供等の事業を、継続的かつ安定的に実施します。

その他の事業（不動産賃貸等）については、医師・研究者等の滞在時利用を最優先としたうえで、未使用期間の一般貸出しを行い、主たる活動を支える財源の安定化に努めます。

2　事業の実施に関する事項

（1）特定非営利活動に係る事業　　（事業費の総費用【　20944　】千円　）

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費（千円）
医師、研究者達のサポート事業	海外勤務希望又は海外勤務中の日本人医師、及びその家族への相談受付	随時	メールにて	3人	海外勤務希望又は海外勤務中の日本人医師とその家族	20人	3,141
医師、研究者達のサポート事業	海外勤務中の医師、その家族、現地の医師や研究者からの情報をまとめた電子版季刊誌の発行	随時	オランダマーストリヒト	2人	海外勤務希望又は海外勤務中の日本人医師とその家族	50人	3,142
医療機関に関する情報収集、提供事業	日本人医師を対象とした海外医療機関、研究室の見学会開催	令和7年9月16日～9月21日	スペインバルセロナ	3人	日本人医師とその家族	30人	14361
医療に関するイベント、講演会の企画、運営事業	日本人研究者の海外での講演会の開催	9月	アメリカボストン	5人	日本人研究者及び海外の医療関係者、不特定多数	50人	300

（2）その他の事業　　（事業費の総費用【　2664】千円）

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費（千円）
不動産の賃貸、売買、管理の事業	法人の所有する不動産を医師や研究者の滞在時の貸し出しに使用しないとき、その不動産を一般の方に貸出しをする	随時	千葉県	3人	2664

書式第１０号（法第１０条・第２５条関係）

設立・定款変更用

令和７年度　活動予算書（その他事業がある場合）

NPO法人RaINBOW

（単位：円）

科目	特定非営利活動に係る事業 金額	特定非営利活動に係る事業 小計・合計	その他事業 金額	その他事業 小計・合計	合計
【A】 経常収益					
1 受取会費		300,000		0	300,000
入会金収益	0				
会費収益	300,000				
2 受取寄附金		0		0	0
受取寄附金					
施設等受入評価益					
3 受取助成金等		0		0	0
受取補助金					
4 事業収益		21,042,000		810,000	21,852,000
医師、研究者達のサポート事業収益	0				
医療機関に関する情報収集、提供事業収益	21,042,000				
医療に関するイベント、講演会の企画、運営事業収益	0				
不動産の賃貸、売買、管理の事業			810,000		
5 その他の収益		0		0	0
受取利息					
経常収益計		21,342,000		810,000	22,152,000
【B】 経常費用					
1 事業費					
（1）人件費		0		0	0
給料手当					
役員報酬					
退職給付費用					
福利厚生費					
（2）その他経費		20,944,740		666,000	21,610,740
旅費交通費	1,423,090				
交際費	1,820,374				
会議費	3,249,756				
通信費	136,313				
消耗品費	2,387,793				
事務用品費	88,643				
水道光熱費	834,668				
車両費	155,329				
新聞図書費	578,130				
諸会費	606,900				
支払手数料	343,409				
業務委託費	7,998,720				
租税公課	459,350				
減価償却費	528,528				
修繕費	214,060				
広告宣伝費	30,000				
賃借料	23,800				
雑費	65,877				
ローン返済			531,000		
物件管理費等			135,000		
事業費計		20,944,740		666,000	21,610,740
2 管理費					
（1）人件費		0		0	0
（2）その他経費		210,720		0	210,720
支払報酬	176,500				
支払手数料	21,320				
諸会費	12,900				
管理費計		210,720		0	210,720
経常費用計		21,155,460		666,000	21,821,460
当期経常増減額 【A】－【B】 ・・・①		186,540		144,000	330,540
【C】 経常外収益					
雑収益					
経常外収益計		0		0	0
【D】 経常外費用					
経常外費用計		0		0	0
当期経常外増減額 【C】－【D】 ・・・②		0		0	0
経理区分振替額 ・・・③		144,000		-144,000	0
税引前当期正味財産増減額 ①+②+③・・・④		330,540		0	330,540
法人税、住民税及び事業税 ・・・⑤					
前期繰越正味財産額 ・・・⑥					-4,513,506
次期繰越正味財産額 ④－⑤+⑥					-4,182,966

書式第１０号（法第１０条・第２５条関係）

設立・定款変更用

令和８年度　活動予算書（その他事業がある場合）

NPO法人RaINBOW

（単位：円）

科目	特定非営利活動に係る事業 金額	特定非営利活動に係る事業 小計・合計	その他事業 金額	その他事業 小計・合計	合計
【A】 経常収益					
1 受取会費		300,000		0	300,000
入会金収益	0				
会費収益	300,000				
2 受取寄附金		0		0	0
受取寄附金					
施設等受入評価益					
3 受取助成金等		0		0	0
受取補助金					
4 事業収益		21,042,000		3,240,000	24,282,000
医師、研究者達のサポート事業収益	0				
医療機関に関する情報収集、提供事業収益	21,042,000				
医療に関するイベント、講演会の企画、運営事業収益	0				
不動産の賃貸、売買、管理の事業			3,240,000		
5 その他の収益		0		0	0
受取利息					
経常収益計		21,342,000		3,240,000	24,582,000
【B】 経常費用					
1 事業費					
（1）人件費		0		0	0
給料手当					
役員報酬					
退職給付費用					
福利厚生費					
（2）その他経費		20,944,740		2,664,000	23,608,740
旅費交通費	1,423,090				
交際費	1,820,374				
会議費	3,249,756				
通信費	136,313				
消耗品費	2,387,793				
事務用品費	88,643				
水道光熱費	834,668				
車両費	155,329				
新聞図書費	578,130				
諸会費	606,900				
支払手数料	343,409				
業務委託費	7,998,720				
租税公課	459,350				
減価償却費	528,528				
修繕費	214,060				
広告宣伝費	30,000				
賃借料	23,800				
雑費	65,877				
ローン返済			2,124,000		
物件管理費等			540,000		
事業費計		20,944,740		2,664,000	23,608,740
2 管理費					
（1）人件費		0		0	0
（2）その他経費		210,720		0	210,720
支払報酬	176,500				
支払手数料	21,320				
諸会費	12,900				
管理費計		210,720		0	210,720
経常費用計		21,155,460		2,664,000	23,819,460
当期経常増減額 【A】－【B】 ・・・①		186,540		576,000	762,540
【C】 経常外収益					
雑収益					
経常外収益計		0		0	0
【D】 経常外費用					
経常外費用計		0		0	0
当期経常外増減額 【C】－【D】 ・・・②		0		0	0
経理区分振替額 ・・・③		576,000		-576,000	0
税引前当期正味財産増減額 ①+②+③・・・④		762,540		0	762,540
法人税、住民税及び事業税 ・・・⑤					
前期繰越正味財産額 ・・・⑥					-4,182,966
次期繰越正味財産額 ④－⑤+⑥					-3,420,426